

- ◆スタートアップ支援事業 (5万円×4団体)  
活動を開始して2年以内の団体対象
- ◆パワーアップ支援事業 (10万円×3団体)  
活動を開始して2年以上が経過した団体対象
- ◆締切 2017年11月17日(金) 消印有効
- ◆詳しくは <http://www.wnc.jp/ka/> へ



## 美は美を守り美をつくる！～片男波自治会8の字会～

和歌山市内に住民たちが1日たりとも休みなく清掃を行っている“きれいな公衆トイレ”として注目されている場所があるのをご存知でしょうか？今回は、公園の美しいトイレを守る「片男波自治会8の字会」の活動を紹介します。片男波自治会の会長で、8の字会代表の玉置成夫さんにお話をうかがいました。



8の字公園全景

片男波自治会8の字会  
連絡先：073-445-1105 (事務局)



公園の看板にも標語が

風光明媚な観光名所が数多くある和歌山市片男波地区。片男波ビーチの真横にある和歌公園は、住民の憩いの場所でもあり観光客も訪れる場所です。和歌公園は、遊具広場が数字の8の字の形につくられていることから「8の字公園」という愛称で親しまれてきました。公園に公衆トイレが設置されたのは、今から17年前の2001年4月。トイレの設置については、住民から管理や治安維持への不安の声もあったため、設計者と自治会

と一緒にトイレの設計と運用について考え設置に至りました。そして完成後、トイレをはじめ公園全体の維持管理を行うボランティア団体を結成。公園の愛称をとり「8の字会」と名付けられました。メンバーは片男波自治会、子供会、片男波

が1つ、T.Oの支社長までが視察に訪れたことも。17年間トイレの清掃と欠かさず行っているのが清掃記録。トイレはきれいに保たれているか、その日の担当者が印をつけ、月ごとにまとめています。それに玉置さんがコメントを加えてトイレに掲示しているそうです。清掃記録は現在3冊

「美しいものは誰も汚そうとはしないでしょ、だから美しいものを守るため毎日きれいにすることで、トイレを使う人もきれいに使ってくれる。そういう意識をもってもらうきっかけになれば」と玉置さんは言います。きれいなトイレは住民の日々の努力で守られているのです。

以前、鳥取県倉吉市に行った際「倉吉で有名なものは何ですか」と問うたところ、「トイレです」と市民の方

もなっており、現在メンバーは20名ほど。毎日交代でトイレの清掃を行っています。

公園には「美は美を守り美をつくる」という標語が掲げられています。活動当初、公園の景観を乱されたことから玉置さんの頭にもこの言葉がふつと浮かんだそうです。

「美しいものは誰も汚そうとはしないでしょ、だから美しいものを守るため毎日きれいにすることで、トイレを使う人もきれいに使ってくれる。そういう意識をもってもらうきっかけになれば」と玉置さんは言います。きれいなトイレは住民の日々の努力で守られているのです。



トイレ清掃の様子

にも及びます。活動がここまで続いたのも、メンバーや公園を利用する住民の協力があったからこそ。「地域力」の高さうかがえます。



標語を記した看板



清掃日誌

### みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- 第11回 貴志川線祭り  
今年は県警白バイ隊など、初登場のイベントが多数。  
日程 11月5日(日) 10:30～15:00  
場所 伊太祈曽駅構内・伊太祈曽神社境内  
内容 わかやま電鉄や沿線自治体やお店、交通事業者等の出店・アトラクション、オルケスタ・デ・タスクルオの演奏など。  
入場料 無料  
問い合わせ わかやま電鉄 (073-478-0110)  
備考 会場には駐車場はありません。貴志川線で来場下さい。
- ワークライフバランスセミナー  
菊池桃子さんの講演「和歌山をもっともっと元気にする」。  
日程 11月8日(水) 13:00～16:00  
場所 和歌山県民文化会館小ホール  
対象 和歌山市に所在する企業と社員のみなさん  
入場料 無料  
定員 200名  
問い合わせ キャリア・プレスユー (0120-281-075、info@blessyou.com)
- シンポジウム・近代遺産の保存と活用～郭家住宅を事例として～  
「郭家住宅」を事例に、近代建築をどう活かし、守っていくかを考えます。  
日程 11月11日(土) 13:30～16:00  
場所 和歌山県立近代美術館 2階ホール  
内容 講演「明治初期洋風建築について」、パネルディスカッション  
参加費 500円  
定員 100名  
問い合わせ 郭家住宅の会 (090-1983-1366・西山さん)
- がん学習会  
がん患者が治療しながら生活を続けていくための問題を解決する取組について勉強します。  
日程 11月5日(日) 13:00～14:00  
場所 和歌山県立図書館 2F ふれあいルーム  
講師 長内真弓さん(がん患者生活コーディネーター)  
テーマ 「治療中のアピアランスケア(外観支援ケア)」  
入場料 無料  
問い合わせ いきいき和歌山がんサポート (ikiiki@jimotoryoku.jp)

このほかの情報もたくさん掲載！  
「わかやまイベントボード」  
URL <http://eventboard.shiminjuku.jp/>

### SDGs 国連・持続可能な開発目標を知ろう ⑱

【目標 16 平和と公正をすべての人に】  
「平和と公正をすべての人に」をテーマに、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任の包摂的な

制度を構築する】  
目標 16 は平和、平等、公正な社会について取り上げられています。  
2030 年までの目標として、①暴力と暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる、②子どもに対する虐待、搾取、取引、暴力、拷問を撲滅する、③法整備により、すべての人々に司法に対して平等にアクセスを提供する、④違法な資金や武器取引の減少と、奪われた財産の回復と返還を強化し、犯罪組織を根絶する、⑤汚職や賄賂を大幅に減少させる、⑥有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を

参加型、及び代表的な意思決定を確保する、⑧グローバル・ガバナンス機関への開発途上国の参加を拡大する、⑨2030 年までにすべての人々に法的な身分証明を提供する、⑩法規・国際協定に従いながら基本的自由を保障する、の 10 点が挙げられています。  
また施策として、⑩特に開発途上国において暴力防止とテロ・犯罪撲滅に関する国家機関を強化すること、⑩被差別的な法規・政策の推進、がうたわれています。  
SDGs は「持続可能な開発のための目標」のことですが、「持続可能な開発は平和と安全なくしては実現できない」と、「平和と安全は持続可能な開発なくしては危機に瀕する」として、平和と安全が確保されることが SDGs の大前提と考えられているようです。  
そのためには、司法への平等なアクセス、人権の尊重、効果的な法律の下によるガバナンス(統治)、透明性を確保し、責任ある制度を基礎とした平和・公正かつ包括的な社会を構築する必要があります。また、不平等、腐敗、貧弱な統

治のほか、不正な資金や武器取引、暴力を引き起こす要因に焦点をあてており、平和の構築、国家の建設には、紛争の解決と予防、紛争後の国々の支援を加速させること、それには女性も一定の役割を担うことも担保させなければならない、と示しています。  
植民地や外国占領下にある住民が自分で自分たちのことを決めることができる権利を実現させるための障害を除去し、経済的・社会的発展や環境面での悪影響を阻止することも狙っています。  
最近の日本では、とくく北朝鮮情勢が取り上げられがちですが、アラブ・アフリカ諸国をはじめ、平和や公正といった視点から問題視されている事例は世界ではまだまだ少なくありません。世界のあらゆる国の連帯が必要になるかと思われませんが、移民問題などを契機に「本国第一主義」的な指導者が増加傾向にあるなど、国際協力の足並みの乱れもみられます。  
安定した発展には「平和」が前提条件になるのは論を待ちません。遠い国のことであっても平和の構築にできることを考えたいですね。